

平成 28 年度第 2 回豊能町総合教育会議 会議録

【概要版】

日 時：平成 29 年 1 月 16 日（木） 午前 11 時 00 分～11 時 55 分

場 所：豊能町役場 2 階大会議室

出席者：構成員 池田勇夫町長（議長） 新谷芳宏教育長 太田佳子教育長職務代理

岸本恵子委員 宮崎純光委員 川村新委員

出席者 乾副町長 板倉教育次長 塩山教育総務課長 小田教育支援課長

小嶋生涯学習課長 川西子ども支援室長

事務局 内田総務部長 秘書政策課長 江崎秘書政策課主任

傍聴希望者：1 名

会議次第

1. 議長（町長）あいさつ

2. 議題

（1）豊能町教育大綱骨子について

3. その他

開会 午前 11 時 00 分

議 長（町長）

- ・昨年 10 月に町長に就任し、新たに教育大綱を策定することとなった。
- ・私なりに教育への思いを述べたい。
- ・教育の基本として「気力」「体力」、「体づくり・体力づくり」は非常に大切。
- ・学力の面だけでなく、日常の挨拶や生活面での体力づくりなど幅広い意味での「教育力・日本一」を目指したい。
- ・学力では、低い人の点数を少しでも上げていくことで、結果的に全体の平均が上げていく方が全体としてはよいのではないかと思います。
- ・保幼小中一貫教育一貫教育についても、ソフト面だけでなくハード面でも真剣に考えて取り組む必要がある。
- ・これらのことについて、意見を伺いたい。
- ・いじめが問題になっているが、いじめの事実を見つけるのが難しいように思うが、

先生もなかなか見つけることが難しい。家庭でもなかなか取り組みが難しいのか。

委員の主な意見

- ・体力づくりは学力にも相関関係があるので、とても大事である。
- ・体だけでなく、徳や知というものが一体となることが必要ではないか。
- ・家庭でも手伝いや家事をする中で体力づくりができるような仕掛けが必要なのではないか。
- ・豊能町は山林など自然豊かな町。こうした豊能町ならではの環境を活かした体力づくりが教育の中で取り組むことができればよい。
- ・子どもはみんな、勉強を理解したいと思っていると思う。だから、点数の低い子どもも、高い子どもも同じように伸ばすことが、豊能の教育ではないか。
- ・これからの子どもたちの将来は、IT化の進行により仕事が少なくなったとしても生きていけるような教育が必要では。
- ・単に点数だけではなく、子どもの意欲なども指標として捉える考えかたが求められるのではないか
- ・子どもにとっては、成功体験や「伸びしろ」があることがとても大切。それらを実感して、いろんな科目に対する意欲や関心につながっていけばよい
- ・子どもの小集団化のデメリットを解消することは必要だが、子どもたちの育ち方をじっくり見て、一貫教育を進めていくというほうが、現場の先生にもしっくりくるのではないか。
- ・子どものために必要に応じて一貫教育があるということが大切ではないか。
- ・いじめをしている子どもは、それ以外に楽しめることがないのだと思う。いじめよりももっと楽しいことを教えてあげることが必要ではないか
- ・保護者も先生もいじめを発見する感受性が鈍ってきているところもある。わずかな変化に気づく感性とか色んな面での余裕が必要ではないか。

決定事項

1 豊能町教育大綱骨子について

- ① いただいた意見を参考に、次回、教育大綱（案）を提案する。
- ② 次回は2月22日（水）午前11：00 役場本庁2階第2会議室

《閉会 11時55分》